

2025年度看護職員の負担軽減及び処遇改善に係る計画書

美誠会足立北病院

2025年4月1日現在	看護職員の負担軽減及び処遇改善計画に関する事項		
病床数 112床	○負担軽減に係る責任者：総看護師長		
看護職員数 看護師 26.5人	○看護師勤務対策委員会構成員		
准看護師 9.6人	院長	医師	事務長
勤務時間 日勤 7時間	薬剤師	検査技師	栄養士
(休憩除 夜勤 15時間15分	理学療法士（作業療法士）		
時間外労働（病棟ひと月当たり） 0～120分	○委員会開催：年2回職場連絡会議内で行う		
看護補助者配置数 34.6人			

2025年度の目標	目標達成のために必要な手順	目標達成 年次
患者情報を一元化し、職員全で共有できるよう整える 【問題点】患者の診療・看護等の情報が業務機能別に取り扱われているため、統合的に捉えにくいときがある。情報共有のためのルールが多くなり、その作業に費やされる時間が多い。	1.業務と各職種の業務範囲を見直し、重複している作業を整理する 2.看護を患者ごとに担当する体制に変更する 3.電子カルテを導入し、情報共有が容易にできるよう整備する	2025年度 末
各病棟看護師（准看護師含む）17名、看護助手15名の配置が常時できるよう採用、補充を行う 【問題点】入院してくる患者の食事や意識レベルの状態が変化してきていることに対応するための看護要員の増員が必要となってきた。（食事介助、レクリエーション、リハビリ等）	1.病院の魅力アップとして看護の知識や技術について年間で計画的なeラーニングの活用や継続教育を行い、教育体制強化をアピールする 2.看護師募集説明会への参加や募集活動を積極的に行う 3.多様な勤務体系の導入について、院内で検討する	2025年度 末
経管栄養剤を個別払い出しに整える 【問題点】経管栄養剤が個人別でなく一日使用する数で段ボール単位で病棟に届けられおり、患者ごとの仕分けを看護師が行っている。	1.事務長を交え、栄養課と可能となる方法を検討する。 2.人員調整、給食会社との契約調整など、体制を整備する。	2025年度